

# 天然記念物 指定100周年

本市には国、県、市指定を合わせると7件の天然記念物があります。そのうち東阿倉川イヌナシ自生地、西阿倉川アイナシ自生地が、大正11年に国の天然記念物に指定され、令和4年で100周年を迎えました。



## 国指定天然記念物・東阿倉川イヌナシ自生地 国指定天然記念物・西阿倉川アイナシ自生地

イヌナシは明治35年に、アイナシは明治36年に、四日市高等小学校\*の教諭3人が発見し、「日本植物学の父」と言われる植物学者 牧野富太郎によって新種のナシとして認定されました。イヌナシは三重県指定希少野生動物植物種にも指定されています。\*現・中部西小学校



イヌナシの花



アイナシの実

## 本市の天然記念物の一部を紹介



### ◀ 国指定天然記念物・御池沼沢植物群落 (西坂部町)

昭和27年に指定され、指定70年を迎えました



詳しくはこちら

### 県指定天然記念物・川島町のシデコブシ群落 ▶

白く細長い花被片が、神事で使う「紙垂(四手)」に似ていることが名前の由来



### ◀ 市指定天然記念物・大樟 (堂ヶ山町)

樹齢850年、根回り約21m、樹高約24m、本市最大のクスノキ

本市の天然記念物一覧



2023年前期  
朝ドラの  
モデル!!

### 牧野富太郎が見た四日市 「120年の時を超えた植物標本」

牧野富太郎にまつわる市立博物館所蔵の植物標本を展示します。

特別陳列

時 3月18日(土)～5月7日(日) 料 無料

所 そらんぽ四日市3階 常設展「時空街道」展覧処「白里亭」、ロビー

## 天然記念物を次の100年へ



文化財保護審議会会長 桐生定巳さん

市内の丘陵地の緩斜面や小さな谷底の平野には、栄養源が乏しい小さな湿地がいくつかあり、東海地方固有の植物が多数生育しています。植物地理学的にも大変貴重なため、中には天然記念物に指定されているものもあります。しかし、現在では丘陵地の開発などによる湿地の乾燥化や帰化植物の侵入により、湿地の存続が危ぶまれています。貴重な湿地と天然記念物を後世に残すには、市民の皆さんに関心を持っていただくことが大切です。ぜひ現地を訪れてみてください。